

GICU に入室された患者様へ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在看護部では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

ICU 退室後患者の PTSD スクリーニングとしての IES-6 の使用検討

●研究の目的

ICU に長期間在室された患者様の多くは、退室後さらには退院後も長期間に及ぶ身体機能、認知機能、精神機能に障害といった集中治療後症候群を発症するとされています。そのような背景の中、当院では、ICU 退室後のフォローアップチームを発足させ活動を行っています。集中治療後症候群は、発症原因から完全に防ぐことは困難であり、早期発見に発見し、介入を行っていくことが重要です。国外の報告では ICU 退室後の患者の心的外傷後ストレス障害の発症率 0~60%とされていますが、わが国における実態は不明です。この研究では、心的外傷後ストレス障害のスクリーニングツールの簡易版の妥当性の検討することを目的としています。

●対象となる患者さん

2019 年 5 月~2022 年 7 月末までの期間に GICU に入室し、心的外傷後ストレス障害のスクリーニングを実施させていただいた方

●研究期間：当院の研究倫理審査委員会承認日から 2022 年 9 月 30 日まで

●使用させていただく診療データ

- ・年齢
- ・性別
- ・精神疾患の有無
- ・気管挿管期間
- ・ICU 在室日数
- ・重症度の評価するためのスコア（APACHE II スコア）
- ・ICU 入室する経路（手術後経由、救急外来経由、病棟経由かなど）
- ・入院区分
- ・心的外傷後ストレス障害のスクリーニングの結果 等

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データから、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●情報管理責任者

研究機関名：神戸市立医療センター中央市民病院

研究機関の長の氏名：木原 康樹

●研究機関

神戸市立医療センター中央市民病院 G-ICU/HCU

研究責任者 田川 早苗

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4344

●問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 G-ICU/G-HCU

担当者 久保田 絢子

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4321

2022年7月25日作成 第1.0版